



レガート 13Bターボ

ターボチューンで快走 変身の4座サルーン!



←今回は燃料供給系のトラブルが発生し、本調子が発揮できなかったのは残念。

→13B型REにKKK製ターボチャージャーをコンビネートしている。

ストリートターボであるから、テスト車は内外装共にオリジナルのまま、品の良いセダンといった感じで、内にターボパワーを秘めているとは思えないはずまいである。

ゼロヨンでは16秒14がベストであつたが、これは全く不本意なタイム。2速ギアで車速を伸ばしている間にガス切れ現象が表われ始め、3速ではエンジン回転が完全にばらついてしまうのである。

フルパワーの場合、ガソリン流量が不足するらしい。しかし当日の現場ではリセッティングパーツも無く、それは手の打ちようがないほどのものであつた。

トップ チューナー 大集結!

後半200mをばらつかせながらの走りであるから、それでも16秒ということは、相当な力量の持主といつてよからう。筆者はこの間の口入を1・5秒前後と推定する。当然実力は14秒台という計算が成り立つ。

1速で軽く7500rpmまで持込めるシャープさは、ロータリー個有の強味といつてよからう。その間、殆ど振動を感じさせないスムーズさは他に比類のない味である。

ターボブーストを加えてもバランスは一向に崩れず、13Bのハイパワーへの適応力は高度のものがあることを示した。

ストリートバージョンとしてのフレキシブルさでも、ノーマルのパワーレベルは少しも損われていない。



●テストデータ●

0~200m=9.78秒
0~400m=16.14秒

チューン担当: カーショップ・チャレンジ